



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場会社名 株式会社 ビケンテクノ
 コード番号 9791 URL <http://www.bikentechno.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶山 龍誠
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 三木 悟
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日 平成24年12月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東大

TEL 06-6380-2141

平成24年12月10日

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	12,937	4.2	614	26.5	606	22.2	313	△0.1
24年3月期第2四半期	12,422	5.2	485	△1.2	496	4.6	313	6.5

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 310百万円 (3.5%) 24年3月期第2四半期 299百万円 (4.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	41.53	—
24年3月期第2四半期	41.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	26,803	11,647	43.5	1,543.91
24年3月期	26,300	11,412	43.4	1,512.78

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 11,647百万円 24年3月期 11,412百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
25年3月期	—	10.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,300	3.1	1,200	65.4	1,150	112.1	600	132.5	79.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	7,718,722 株	24年3月期	7,718,722 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	174,859 株	24年3月期	174,829 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	7,543,871 株	24年3月期2Q	7,597,107 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるビルメンテナンス業界は、復興需要が拡大する中ではありましたが、世界景気のさらなる下振れや金融資本市場の変動の影響を受け、非常に厳しい状況で推移いたしました。

こうした状況の下、当社グループにおきましては、ファシリティマネジメントに重点を置き、顧客の省エネニーズや建物のライフサイクルコストの低減を図る提案などの営業展開を積極的に進めております。また、顧客の要望に応じた仕様の見直しや機械化を推し進めるとともに、コスト削減への取り組みを強化しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、ビルメンテナンス事業において、効率化を推進するとともに、提案営業による業務拡大を進めております。また、プロパティマネジメント業務との連携をさらに強めることにより、新規得意先の開拓も進めております。完全子会社化した小倉興産株式会社においては、作業の効率化・作業品質向上に取り組みつつ、北九州地区でのブランド力を生かした営業活動を推進しており、新規顧客開拓を進めております。

また、アジア地域での展開については、業務並びに情報収集の拠点としての機能を活かし、現地での入札参加等の活動を行っています。フランチャイズ事業においては、一部苦戦している店舗はありますが、前連結会計年度に開店したサルヴァトーレクオモ2店舗(梅田店、京橋店)が順調に推移しております。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は129億37百万円(前年同期比4.2%増)、経常利益は6億6百万円(前年同期比22.2%増)、四半期純利益は3億13百万円(前年同期比0.1%減)となりました。

セグメントの概況は、次のとおりであります。

① ビルメンテナンス事業

ビルメンテナンス事業では、ビルメンテナンス部門で大型の新規現場の獲得が進みました。既存現場では、作業工程の見直しや協力業者への委託業務の変更を進めつつ、コストの削減を進めております。エンジニアリング部門では、マンションの大規模修繕工事やオフィスビルの入退去工事を獲得いたしました。サンテーション部門では、東日本大震災による影響からの脱却が進んでまいりました。

第3四半期連結会計期間におきましても、ファシリティマネジメントを強化し、提案型営業を進めていくとともに、収益体質を強化してまいります。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は102億69百万円(前年同期比1.6%増)、セグメント利益は10億95百万円(前年同期比12.6%増)となりました。

② 不動産事業

不動産事業では、不動産の売買、仲介並びに保有している不動産の賃貸などを行っています。当第2四半期連結累計期間においては、物件の売却を行い、また賃貸収入が安定的に推移いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4億98百万円(前年同期比144.6%増)、セグメント利益は1億15百万円(前年同期比146.4%増)となりました。

③ 介護事業

介護事業では、入居一時金の償却期間が終了した入居者が増加していることから売上が減少しております。傘下の医療法人との連携をさらに強化しており、入居者の皆さまに安心して生活していただくとともに、収益の改善を目指しております。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6億27百万円(前年同期比0.4%増)、セグメント損失は4百万円(前年同期は4百万円のセグメント利益)となりました。

④ フランチャイズ事業

フランチャイズ事業においては、前連結会計年度に開店したサルヴァトーレクオモ2店舗(梅田店、京橋店)が順調に推移しております。ツタヤ店舗においては、売上・利益とも減少しており、改善への取り組みを進めております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は15億27百万円(前年同期比3.9%増)、セグメント利益は91百万円(前年同期比25.2%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は155億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億3百万円の増加となりました。これは主に販売用不動産が17億24百万円増加し、現金及び預金が8億79百万円減少したことによるものであります。固定資産は112億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ1百万円減少いたしました。

この結果、総資産は268億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億2百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は91億40百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億93百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が7億円増加したことによるものであります。固定負債は60億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億25百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が6億64百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は151億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億67百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は116億47百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億34百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益3億13百万円及び剰余金の配当75百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は43.5%（前連結会計年度末は43.4%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、平成24年5月11日公表の「平成24年3月期決算短信」に記載のとおりであり、業績予想は修正しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,221,180	4,341,227
受取手形及び売掛金	2,751,820	2,733,431
商品及び製品	166,329	164,164
販売用不動産	4,737,397	6,461,826
仕掛品	4,917	6,995
原材料及び貯蔵品	36,645	38,084
その他	2,927,061	2,623,696
貸倒引当金	△782,440	△802,763
流動資産合計	15,062,911	15,566,662
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,511,786	3,456,240
土地	5,358,745	5,360,583
その他(純額)	418,495	458,857
有形固定資産合計	9,289,027	9,275,681
無形固定資産	393,295	375,389
投資その他の資産		
その他	1,683,855	1,701,142
貸倒引当金	△128,133	△115,848
投資その他の資産合計	1,555,721	1,585,294
固定資産合計	11,238,044	11,236,365
資産合計	26,300,956	26,803,027

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,525,814	1,417,381
短期借入金	1,700,000	2,400,000
1年内償還予定の社債	220,000	220,000
1年内返済予定の長期借入金	2,635,960	2,754,716
未払法人税等	56,106	191,425
賞与引当金	241,196	231,434
その他	1,868,765	1,925,905
流動負債合計	8,247,843	9,140,864
固定負債		
社債	290,000	180,000
長期借入金	4,890,624	4,226,033
退職給付引当金	428,568	466,064
役員退職慰労引当金	223,544	223,772
その他	808,138	919,234
固定負債合計	6,640,875	6,015,104
負債合計	14,888,718	15,155,968
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,808,800	1,808,800
資本剰余金	1,852,220	1,852,220
利益剰余金	7,817,984	8,055,828
自己株式	△78,449	△78,463
株主資本合計	11,400,556	11,638,386
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,681	8,672
その他の包括利益累計額合計	11,681	8,672
純資産合計	11,412,238	11,647,059
負債純資産合計	26,300,956	26,803,027

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	12,422,050	12,937,596
売上原価	9,939,635	10,275,398
売上総利益	2,482,414	2,662,197
販売費及び一般管理費	1,997,133	2,048,155
営業利益	485,280	614,042
営業外収益		
受取利息	21,740	25,110
受取配当金	4,015	3,740
受取保険金	17,986	223
持分法による投資利益	1,243	6,159
その他	40,429	39,061
営業外収益合計	85,415	74,295
営業外費用		
支払利息	58,661	49,579
支払手数料	14,882	18,651
その他	1,119	13,945
営業外費用合計	74,663	82,176
経常利益	496,032	606,160
特別利益		
固定資産売却益	23	657
特別利益合計	23	657
特別損失		
固定資産除却損	575	—
会員権評価損	150	1,000
特別損失合計	725	1,000
税金等調整前四半期純利益	495,329	605,818
法人税、住民税及び事業税	182,078	180,503
法人税等調整額	△339	112,011
法人税等合計	181,739	292,514
少数株主損益調整前四半期純利益	313,590	313,304
四半期純利益	313,590	313,304

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	313,590	313,304
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,924	△3,008
その他の包括利益合計	△13,924	△3,008
四半期包括利益	299,665	310,295
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	299,665	310,295
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。